

【授業の様子】

活動 1

《準備運動・感覚づくり運動》

つま先を持って体を前に倒すよ。



首と肩で支えて足先までピンと伸ばそう。



足を上げられる人は上げてみよう。



準備運動は新居浜ウォームアップを行った。新居浜ウォームアップはアップテンポな音楽に合わせて基礎体力を向上させることを目的として作られ、新居浜市の小学校で体育科準備運動として取り入れられている。1番はそのまま行い、2番にマット運動に必要なストレッチや柔軟を取り入れ、新居浜ウォームアップ泉川マット運動バージョンとして行った。感覚づくり運動では発表で使用する音楽に合わせて、くま歩き、うさぎ跳び、手押し車、ゆりかご、えんとつ、ブリッジ、倒立足入れ替えなどを行い、主運動につながる逆さ感覚や、腕支持感覚などを身に付けさせた。

活動 2

《課題の確認》



本時のめあて「グループで課題を明確にし、解決に向けて協力して練習しよう」を確認した。その後、前回の授業でペアグループに評価してもらったループリックをもとに設定した課題をグループごとに発表し、課題を明確にして練習に取り組ませた。

活動 3

《課題解決 グループ練習》

跳び前転から入ったらカッコいいよね。



ここがそろっていないから、カウントをとりながらやってみよう。



最初から通して演技してみよう。



グループ練習では、前時のループリック評価で低かった項目から具体的に課題を設定し、その解決に向けて取り組ませた。タブレット端末の遅延再生機能を使って、即時に振り返りや修正ができるようにした。また、音楽をループ再生することで、いつでも通し練習ができるようにした。一度、動画撮影の時間を確保し、その動画を見ながら自分たちでループリック評価を行い、修正点を見付ける時間を設けた。

活動4 《課題解決 ペアグループでの発表・相互評価》

側方倒立回転や開脚前転で足を伸ばすことを意識するので注目してください。



前回よりも動きがそろっているし、足先までしっかり伸びているね。



完成度の評価は上級です。前回よりも膝がピンと伸びていました。



前時と同じペアグループでの発表、相互評価を行った。発表する前に特に注目してほしいアピールポイントを相手グループに伝えることで、見る側の視点を明確にした。見る側も一人一役としてループリック評価で自分が評価する項目を決め、その項目について責任を持って評価するようにした。今回、評価項目の難易度については練習で変わることはないため評価はせず、その分、アピールポイントについて評価するようにした。見るときは手拍子をしながら発表グループが気持ちよく笑顔で演技できるよう声掛けをした。評価はホワイトボードに磁石を置くことで、視覚的に評価が分かりやすくした。また、評価を伝える際にはなぜその評価になったのか理由も一緒に述べるよう指導した。

活動5 《振り返り》

ループリック評価で完成度が中級だったから、伸ばすところをしっかり伸ばそう。



カウントをしっかりとってタイミングをそろえたいです。



一つ一つの技の完成度がかなり高くなりましたね。今日出た課題を修正し、いい発表会にしましょう。



ペアグループから返ってきたループリック評価で、低かった項目をもとに次時の課題を設定させた。グループで設定した課題を発表させることで、具体的なめあてを持って次回の練習に取り組めるようにした。本時の課題をしっかりと修正し、発表会に向けて完成度が高まっていることを称賛し、次時の発表会に向けて意欲を高めた。